

予防医学の重要性説く

大里研究所理事長 国際会議で講演

バチカン

大里研究所（揖斐郡大野町稲富）の林幸泰理事長が、バチカンで行われた「世界



世界的健康格差に関する国際会議で予防医学の重要性を提言した林幸泰理事長（右）バチカン

的健康格差に関する国際会議」で講演し、予防医学の重要性などについて提言した。

同研究所は、高齢化社会における医療費削減をテーマに、パパイア発酵食品（FPP）の研究に取り組んでいる。国際会議は今年で32回目で、世界各国の医師や病院関係者約500人が出席した。

同国に招かれ初めて講演した林理事長は、病気の予防に重要な要素として、教育、発酵食品、老後の生きがいの3点を挙げ、定年後も教育を受けられる仕組みづくりの必要性などを述べ

た。日本の医療の現状や認知症予防の研究にも触れ「脳にエネルギーを供給するための代謝機能の低下を防ぐことが老化の防止につながる」と語った。

（山田雄大）